

岩木山火山防災マップ(弘前市)

岩木山火山防災協議会作成

岩木山で発生が予想される噴火について水蒸気噴火の場合とマグマ噴火の場合の図を示しています。

水蒸気噴火の場合(予想図)

噴火警戒レベル2の段階から発生する現象と影響範囲

水蒸気噴火で発生する現象の特徴

- 岩木山の水蒸気噴火で発生が予想される現象として、降灰、噴石、火口噴出型泥流、降灰後の土石流があります。左の図ではこれらの現象により予想される影響範囲を示しています。
- このうち居住地域に影響が大きい現象は、岩木山の風下方向に降る降灰、降灰があった斜面から降灰後に発生する降灰後の土石流、火口から泥水が流れ出す火口噴出型泥流です。
- 降灰があると、降り積もった火山灰が斜面の地表面をコーティングするように覆ってしまうため、雨水が地面に染み込まず、少量の雨でも雨水が短時間で谷に集まって流れ下るため土石流が発生しやすくなります。



記号の色と意味

青枠は水蒸気噴火での発生を想定

火口

スカイライン・登山道・リフト施設等の破壊



想定火口範囲

想定火口の円内では、どこからでも噴火が発生する可能性があります。

噴石

人体への被害、リフト施設等の破壊



噴石が弾道を描いて飛び散る範囲を、全方向について示しています。

降灰

健康被害、施設等の崩壊、交通障害、農作物・森林等の被害



風下の場合の予想降灰層厚を、全方向について示しています。

火口噴出型泥流



噴火にともなって、火口から泥水が溢れ出す場合の氾濫する範囲を示しています。

噴火の直後には…

降灰後の土石流



人体への被害、家屋・畑・道路等への被害

噴火後の降雨による土石流の予想氾濫範囲を示しています。土石流は降灰があった溪流で発生しやすくなります。

マグマ噴火では水蒸気噴火の現象に加えて、以下の現象の発生を想定

全ての方向に、同時に流下するわけではありません。

火砕流・火砕サージ

人体への被害、施設等の破壊、山火事、農作物・森林等の被害



色のやや濃い部分火砕流の土砂(本体)の流下範囲を示しています。

色の薄い部分熱風(火砕サージ)の到達範囲を示しています。

雪の多い時期には…

融雪型火山泥流



人体への被害、家屋・畑・道路等への被害

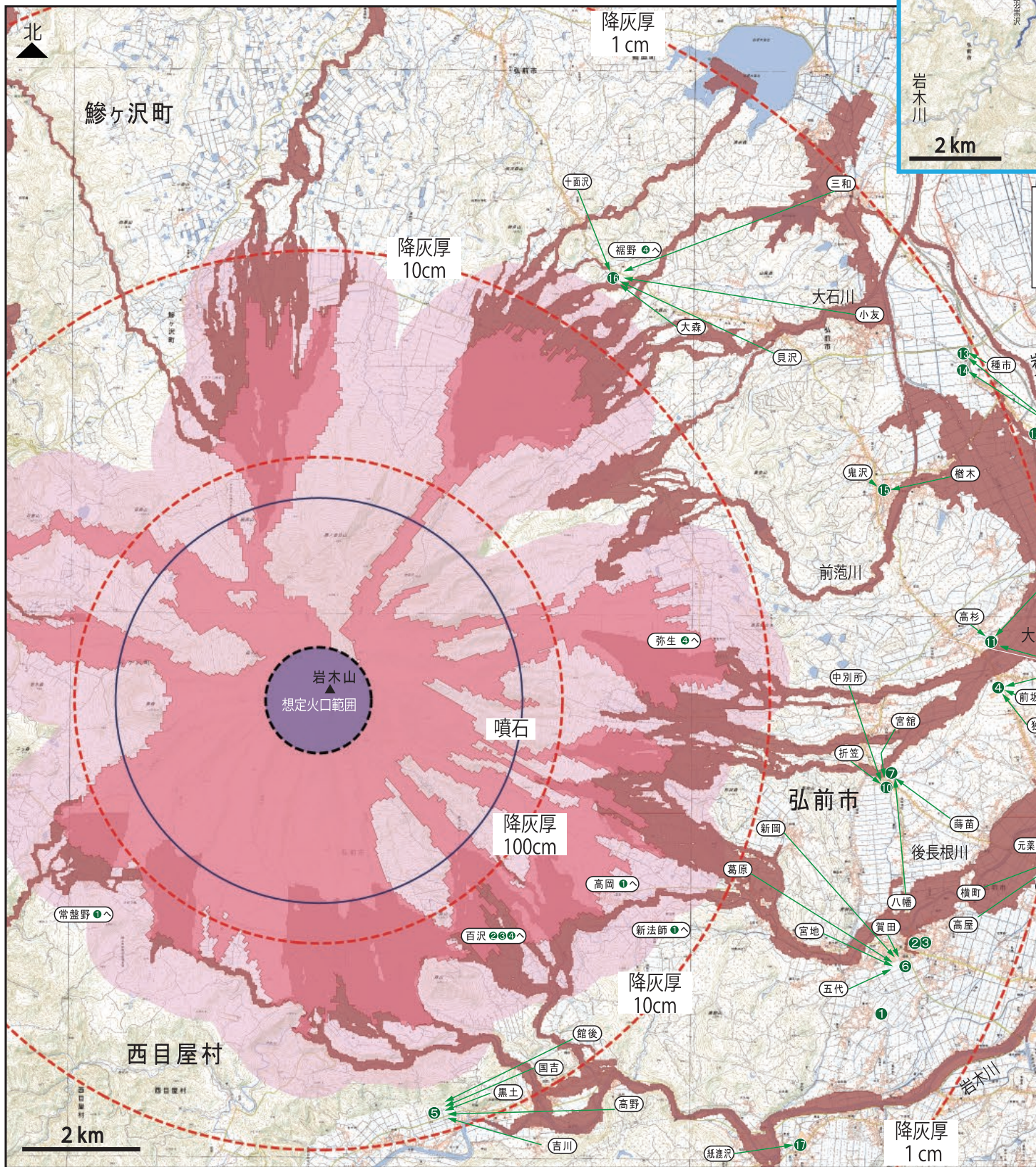
融雪型火山泥流が流下し、氾濫する範囲を示しています。

火砕流が流下した斜面で雪が融けて発生します。全ての方向で同時に発生するわけではありません。

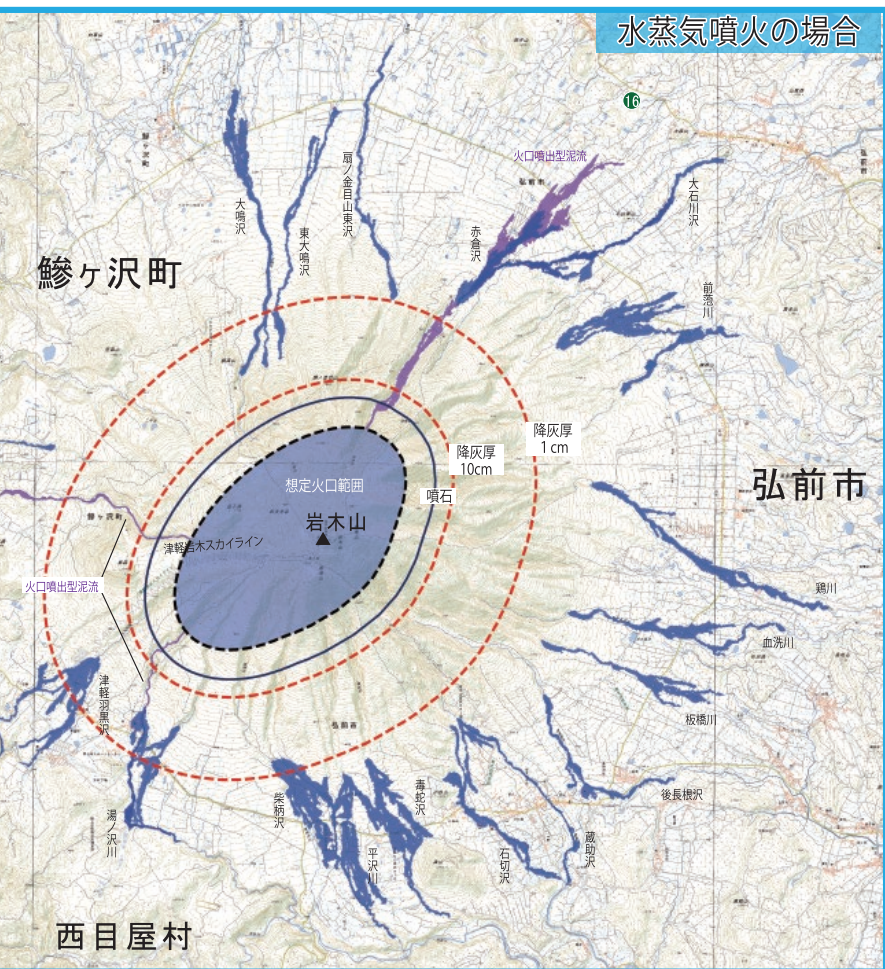
マグマ噴火の場合(予想図)

噴火警戒レベル3以上の段階で発生する現象と影響範囲

火砕流・火砕サージはレベル4以上で発生
融雪型火山泥流はレベル4以上で、かつ、積雪期にのみ発生



この図はマグマ噴火の場合に、噴石、降灰、火砕流・火砕サージ・融雪型火山泥流の影響を受ける全ての予想区域について示しています。一回の噴火でこの図に示した全ての方向に現象が流下するわけではありません。



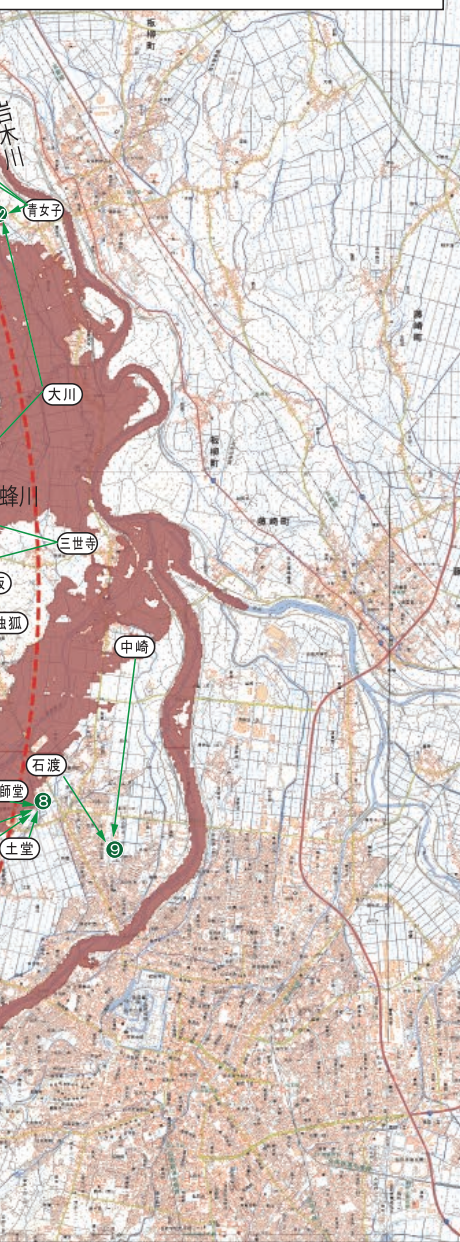
岩木山噴火時の避難所リスト

◇印は、特定地域のため、噴火警戒レベル2で避難準備、噴火警戒レベル3で避難が必要な地区です。
◆印は、融雪型火山泥流の発生が予想される場合に避難が必要な地区です。

弘前市	避難対象地区	避難所
	常盤野地区◇、高岡地区、新法師地区	①岩木B&G海洋センター
	百沢地区(杉山町会・上弥生町会含む)	②中央公民館岩木館、③岩木文化センター、④北辰学区高杉ふれあいセンター
	弥生地区(弥生町会含む)、裾野地区(一部)、独狐地区(一部)◆、前坂地区(一部)◆	④北辰学区高杉ふれあいセンター
	高野地区◆、館後地区◆、国吉地区◆、黒土地区◆、吉川地区(一部)◆	⑤東目屋ふれあいセンター
	葛原地区◆、新岡地区(一部)◆、宮地地区◆、五代地区(一部)◆、賀田地区(一部)◆	⑥岩木小学校
	八幡地区◆、蒔苗地区(一部)◆	⑦船沢中学校
	高屋地区(一部)◆、横町地区(一部)◆、土堂地区(一部)◆、元薬師堂地区(一部)◆	⑧河西体育センター
	石渡地区(一部)◆、中崎地区◆	⑨致遠小学校
	中別所地区(一部)◆、折笠地区(一部)◆、宮館地区(一部)◆	⑩船沢小学校
	三世寺地区(一部)◆	④北辰学区高杉ふれあいセンター、⑪北辰中学校
	高杉地区(一部)◆	⑪北辰中学校
	大川地区◆	⑪北辰中学校、⑫新和小学校
	青女子地区◆	⑬新和小学校、⑭新和中学校、⑮新和地区体育文化交流センター
	種市地区(一部)◆	⑯新和中学校
	榎木地区(一部)◆、鬼沢地区(一部)◆	⑯自得小学校
	小友地区(一部)◆、三和地区(一部)◆、貝沢地区(一部)◆、大森地区(一部)◆、十面沢地区(一部)◆	⑯裾野地区体育文化交流センター
	紙漣沢地区(一部)◆	⑰相馬総合支所
	観光客、帰宅困難者	②中央公民館岩木館、③岩木文化センター

マグマ噴火の場合にも、水蒸気噴火と同様に降灰後の土石流や火口噴出型泥流が発生すると考えられるため、これらの現象の影響範囲については水蒸気噴火の場合の予想図(上図)を参考にしてください。

上の図は水蒸気噴火の場合に、降灰・噴石・火口噴出型泥流、降灰後の土石流の影響を受ける全ての方向の予想区域について示しています。
一回の噴火でこの図に示した全ての方向に現象が流下するわけではありません。



避難所と避難方向について

- 左図の丸数字(①～⑰)は岩木山の火山噴火時の避難所を示しています。
- また、矢印(→)は地区(地区の一部のみが避難対象の場合あり)の避難所を示しています。
- 避難所へ向かう場合の経路は基本的に「火山から遠ざかる方向へ」および「川から離れる方向へ」向かいましょう。
- このページ右上にある「岩木山噴火時の避難所リスト」を参照して、ご自分の居住地域と避難所の場所や、避難する際の経路をあらかじめ考えておきましょう。

マグマ噴火で発生する現象の特徴

- マグマ噴火は、噴火警戒レベル3以上のときに発生する可能性があります。
- 水蒸気噴火の場合と同様に、山体斜面に降灰があった場合、少量の降雨でも土石流が発生しやすくなります。
- マグマ噴火で発生する現象のうち、火砕流・火砕サージはレベル4以上で発生する想定です。また、融雪型火山泥流はレベル4以上で、かつ、積雪期にのみ発生する想定です。
- 火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域に流下してくる場合、甚大な被害が発生すると予想されます。



岩木山の噴火警戒レベル

平成28(2016)年7月運用開始

種別	名称	対象範囲	レベル(1-5)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)	居住地域及びそれより火口側	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	● 融雪型火山泥流または火砕流・火砕サージが発生、あるいは切迫している。 ● 噴火の規模や位置が特定できない場合に、融雪型火山泥流または火砕流・火砕サージの可能性が有る。 過去事例 事例なし
			4(避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	● 融雪型火山泥流または火砕流・火砕サージを伴う噴火が予想される。 過去事例 事例なし
警報	噴火警報(火口周辺)	火口から居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。状況に応じて要配慮者の避難準備、特定地域の避難等が必要。	● マグマ噴火の発生が予想される。 ● 融雪型火山泥流及び火砕流・火砕サージが予想されない噴火の発生。 過去事例 1600年の噴火: 噴石、火砕流、泥流 1618年の噴火: 降灰 1782年冬～83年春の噴火: 噴煙、噴石、火口列生成 1845年の噴火: 噴煙・噴霧湧出 1863年の噴火: 噴石
			2(火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難準備等が必要。	● 水蒸気噴火の発生が予想される。 過去事例 1978年の活動: 赤倉沢で噴気活発化
予報	噴火予報	火口内等	1(活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。	● 火口内での少量の噴気・火山ガス等の発生。

※ 特定地域とは、警戒範囲に隣接している弘前市常盤野町会を指す。噴石、火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流で避難道路などが通行不能となるおそれがある区域では、早期避難等が必要。
※ 火口とは、岩木山火山噴火緊急減災対策防計画で想定された火口をいう。
令和2年8月1日時点の警戒レベルは1です